

平成30年度 事業報告書

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会

目 次

事 業 報 告

1	総 括	1
2	会務の運営	2
3	会員募集と啓発事業	4
4	地区社協・地域福祉活動推進事業	6
5	ボランティア活動推進事業	9
6	共同募金配分事業	16
7	放課後児童クラブ事業	18
8	子育てサポートプラザ事業	20
9	ファミリー・サポート・センター事業	27
10	高齢者福祉事業	29
11	老人居宅介護等事業	30
12	高齢者自立支援事業	31
13	障害福祉サービス事業	31
14	障害者相談支援事業	32
15	手話通訳者派遣事業	35
16	障害者居宅サービス技術援助事業	36
17	福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）	38
18	生活福祉資金貸付事業	39
19	青木会館事業	40
20	やすらぎ会館事業	41
21	住民参加型福祉サービス事業	41
22	交通遺児育英事業	44
23	居宅介護支援事業	45
24	地域包括支援センター	46
25	成年後見センター	49
26	生活困窮者自立相談支援事業	53
27	生活支援体制整備事業	56
28	収益事業	58

事業報告

1 総括

超少子高齢社会の進展に伴って社会的孤立や生活困窮などの生活福祉問題が深刻さを増し、国が掲げる「我が事・丸ごと」の地域づくりに象徴されるように、全世代型の包括的な支援体制と地域共生社会の実現が切実に求められるようになりました。

こうしたなかにあつて、平成30年度は川口市が中核市に移行し、本会が法人化40周年を迎えた大きな節目の年でありました。

本会においては、これまでの40年間で構築してきた行政や地域住民、ボランティア、福祉関係機関・団体などとの信頼関係や協力関係をもとに、「第2次社協強化計画の推進」「地域福祉活動・ボランティア活動の推進」「生活支援体制整備事業の推進」「相談支援の連携強化」「社協経営基盤の強化」の5つの重点目標を柱として、「誰もがあんしんして暮らせる福祉のまちづくり」に取り組みました。

「1. 第2次社協強化計画の推進」については、「小地域福祉活動を中心に多様なネットワークを組み、地域ニーズに寄り添う社協」という経営ビジョンのもと、事業・組織・財政の3つの重点項目に沿って人材の育成やPRの強化、地域福祉活動の推進体制の整備に取り組みました。

「2. 地域福祉活動・ボランティア活動の推進」については、住民主体による地域福祉活動の支援及び住民との協働による地域課題の解決を主眼にした「第2期かわぐち市民活動プラン」を策定しました。また、引き続きこども食堂などの先駆的なボランティア活動に対する支援や社会福祉施設等との連携による居場所づくりを進めたほか、災害ボランティアセンターの運営に関して行政との連携強化や災害ボランティア登録者のフォローアップに努めました。

「3. 生活支援体制整備事業の推進」については、行政と連携して第1層協議体の設置に至ったほか、行政や地域包括支援センターと協力して市内全域の情報の整理と共有化を行いました。

「4. 相談支援の連携強化」については、幅広い分野の相談支援事業を行っている本会の特性を活かし、各事業で寄せられる相談に対して内部連携のもと総合的・横断的に取り組むとともに、包括的な支援体制の構築に向けて多機関・他職種との連携強化を図りました。

「5. 社協経営基盤の強化」については、引き続き法制度に則って透明性や公平性を確保しながら適正に法人運営を行ったほか、組織体制の強化や財政状況の改善に取り組み、更なる経営基盤の強化を進めました。

2 会務の運営

(1) 理事会の開催

①第1回理事会

平成30年 6月 6日(水) 出席者 理事10人 監事2人

議案第1号 平成29年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第2号 平成29年度公益事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第3号 平成29年度収益事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第4号 平成29年度事業報告について

議案第5号 平成29年度収支決算報告について

議案第6号 平成30年度障害者居宅サービス技術援助事業の受託に係る専決処分の承認について

議案第7号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第8号 会長及び川口市長間の同一名義での契約等に係る専決処分の承認について

議案第9号 平成30年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について

②第2回理事会

平成30年10月31日(水) 出席者 理事13人 監事1人

議案第10号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算について

議案第11号 定款細則の一部変更について

議案第12号 職員給与規程の一部改正について

議案第13号 評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について

議案第14号 平成30年度第2回評議員会の招集について

③理事会(会議省略)

平成31年 1月 8日(火) 同意者 理事14人 監事2人(各全員)

議案第15号 職員給与規程の一部改正について

④理事会(会議省略)

平成31年 2月21日(木) 同意者 理事14人 監事2人(各全員)

議案第16号 平成31年度青木会館総合管理業務の委託に係る指名競争入札について

⑤第3回理事会

平成31年 3月12日(火) 出席者 理事11人 監事1人

議案第17号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第18号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算について

議案第19号 平成31年度事業計画及び収支予算について

議案第20号 会長及び川口市長間の同一名義での契約等について

議案第21号 指名競争入札による平成31年度青木会館総合管理業務委託契約の締結について

議案第22号 平成30年度第3回評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催

①第1回評議員会(定時評議員会)

平成30年 6月20日(水) 出席者 評議員31人 理事1人 監事1人

議案第1号 平成29年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第2号 平成29年度公益事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第3号 平成29年度収益事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第4号 平成29年度事業報告について

議案第5号 平成29年度収支決算報告について

議案第6号 平成30年度障害者居宅サービス技術援助事業の受託に係る専決処分の承認について

議案第7号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第8号 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償要綱の制定について

②第2回評議員会

平成30年12月25日(火) 出席者 評議員34人 理事2人

議案第9号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算について

③第3回評議員会

平成31年 3月27日(水) 出席者 評議員32人 理事2人

議案第10号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算専決処分の承認について

議案第11号 平成30年度社会福祉事業区分補正予算について

議案第12号 役員及び評議員の報酬並びに費用弁償要綱の一部改正について

議案第13号 平成31年度事業計画及び収支予算について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

平成30年度評議員選任・解任委員会 平成30年11月 8日(木) 出席者 5人

評議員の選任について

(4) 地域福祉推進委員会の開催

①委員会の開催

- ・平成30年 7月20日(金) 出席者 12人
- ・平成30年 9月11日(火) 出席者 10人
- ・平成31年 2月 6日(水) 出席者 13人
- ・平成31年 3月14日(木) 出席者 10人

②障害福祉活動支援助成金の交付

財団法人長谷川身体障害者福祉財団の寄附金を原資に、市内障害者施設及び団体への支援を目的とする障害福祉活動支援助成金の審査を行い、交付した。

	助成施設・団体名	助成内容	助成額(円)
備品購入	特定非営利活動法人ラッコの会 就労継続支援B型パンラッコ	業務用卓上ミキサーの購入	84,000
	カフェ&ふれあいショップ ふらっと運営委員会	ディスプレイワゴンの購入	62,000
社会福祉事業	川口市聴力障害者協会	中途失聴・難聴者対象 手話教室の開催	32,000
合 計			178,000

3 会員募集と啓発事業

(1) 会員募集活動

幅広い市民の参加と協力を基盤とした社協運営を図るため会員制度を実施し、各会員の加入促進を図りながら募集活動を行った。

会員種別	会費(1口)(円)	会員数(件)	口数(口)	金額(円)
個人会員	1,000	15,564	16,079	16,080,100
賛助会員	5,000	328	577	2,885,000
施設・団体会員	2,000	61	127	254,000
合 計				19,219,100

※個人会員の金額は、端数の1,100円(500円×1件 600円×1件)を含む。

※個人会員会費と賛助会員会費の50%は、会員の居住地(所在地)の地区社会福祉協議会の福祉活動費として交付した。(交付額についてはP6を参照)

(2) 広報誌の発行

- ・「社協だより」 776,000部(年4回 季刊発行)

(3) ホームページの公開及びSNS (Twitter) による福祉情報等の発信

①ホームページ閲覧数 20,961件

②Twitterによる情報発信

ツイート数 122回 フォロワー数 205件

(4) 法人化40周年記念式典の開催

法人化40周年を迎えたことを機に、これまで本会や地域福祉の推進に尽力いただいたかたがたに感謝を表するとともに更なる地域福祉の推進を期するため、式典を開催した。

開催日時	平成30年11月23日(金・祝) 9時30分～11時50分
来場者数	250人
開催場所	青木会館2階 市民ホール
内容	【第1部】 記念式典 ・表彰状及び感謝状贈呈 ・振り返りと抱負 【第2部】 記念講演 ・演題 ～大切な人が認知症になったらあなたはどうする?～ 若年性アルツハイマーの母と生きる ・講師 フリーアナウンサー 岩佐 まり 氏

(5) マスコットキャラクター「社助」によるPR

- ・着ぐるみ出演及び貸し出し数(社協事業・地区社協・町会等) 42回
- ・ゆるキャラグランプリ2018出場(ご当地キャラ部門) 507体中77位

(6) 福祉協力店の実施

「誰もがあんしんして暮らせる福祉のまちづくり」を推進するため、市内に店舗を有する商店や企業、事業所の協力により、地域福祉の啓発及び推進を図ることを目的とする福祉協力店を設置した。

- ・福祉協力店数 32店舗(平成31年 3月31日現在)

(7) 社会福祉士実習生の受け入れ

社会福祉士養成の指定科目である相談援助実習に協力し、下記の養成校の実習生を受け入れた。

養成校名	人数(人)
公立大学法人埼玉県立大学	2

4 地区社協・地域福祉活動推進事業

(1) 地区社会福祉協議会連絡協議会の開催

- ・平成30年 6月29日(金) 出席者 19人
- ・平成30年10月25日(木) 出席者 15人
- ・平成31年 1月25日(金) 出席者 19人
- ・平成31年 3月13日(水) 出席者 17人

(2) 地区社協活動交付金の交付

地区社会福祉協議会に対し、下表の内訳のとおり地区社協活動交付金を交付した。

単位：円

内 訳		第1期 (6月)	第2期 (9月)	第3期 (1月)	追加分	合計
A	平成30年度に地区 で取りまとめた 個人会員会費・賛助 会員会費の50%	5,341,050	3,269,000	549,000	169,500	9,328,550
B	平成29年度に地区 で取りまとめた 赤い羽根共同募金 実績額の39.5%	12,213,000	0	0	0	12,213,000
合 計		17,554,050	3,269,000	549,000	169,500	21,541,550

※Aは第1期に5月までの実績分を、第2期は6月から8月の実績分を、第3期は9月から12月の実績分を交付した。(1月以降の実績は、随時追加分として交付)

※Bは第1期に全額を交付。

(3) 川口市地域福祉活動計画「かわぐち市民活動プラン」の推進・進行管理

①かわぐち市民活動プラン推進委員会の運営

かわぐち市民活動プランの推進状況に関する確認・評価と提言などを行う、かわぐち市民活動プラン推進委員会の運営を行った。

- ・平成30年 7月13日(金) 出席者 12人
- ・平成30年10月19日(金) 出席者 9人
- ・平成30年12月14日(金) 出席者 11人
- ・平成31年 3月26日(火) 出席者 11人

②第2期かわぐち市民活動プランの策定

現行計画の見直しを進め、第2期かわぐち市民活動プランを策定した。

③地域福祉推進員制度の拡充

地域の多様な人材の発掘及び活用を図り、地域と密着して計画を推進する地域福祉推進員の配置を進めるとともに、その活動の支援を行った。

ア 地域福祉推進員数

19地区 計161人（平成31年 3月31日現在）

イ 災害ボランティア登録者のフォローアップ講座兼地域福祉推進員研修会

開催日	内 容	参加者数（人）
平成30年 11月4日	<p>○講 義</p> <p>「7月豪雨災害における広島県坂町災害ボランティアセンターでの活動について」 講師：川口市社会福祉協議会地域福祉課職員</p> <p>「水害及び災害ボランティアについて」 講師：災害支援・防災教育コーディネーター 宮崎 賢哉 氏</p> <p>○グループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浸水家屋での活動について」 ・「日々の暮らしでできる備えについて」 	<p>災害ボランティア登録者 18</p> <p>地域福祉推進員 39</p>

※地域福祉推進員には地区社協会長等を含む。

④地域福祉活動に対する助成

かわぐち市民活動プラン推進委員会で審査を行い、下記の2種の助成金を交付した。

ア ふくしのまちづくり助成金

新規事業コース、拡充事業コース、サロン活動コースの3つの助成コースを設け、地域活動団体によるかわぐち市民活動プランの活動計画に関わる事業及び他の地域福祉推進に有意な事業に対して助成金を交付した。

コース	助成団体	助成事業	助成額 (円)
拡 充	シブスマイル	障害児の兄弟・姉妹の仲間づくり	32,000
	わいわいネットワーク鳩ヶ谷	わいわい食堂	100,000
サロン 新 規	ひのつめサロン	ひのつめサロン	60,000
	ぽっぽカフェ	ぽっぽカフェ	60,000
	すこやか喫茶実行委員会	すこやか喫茶	60,000
	アニメバリアフリーサークル エンジェルライン	自宅ピア Café 趣味カフェステーション	35,236
サロン 継 続	芝西ひだまりサロン	芝西ひだまりサロン	40,000
	学園台お茶会	学園台お茶会	28,000
	NPO 法人親子サロン mano&mano	mano&mano 親子サロン 「すこあ」おもちゃ図書館	40,000
	ふれあいいきいきサロン芝園	ふれあいいきいきサロン芝園	13,271
	ゆうゆうサロンみちにし	ゆうゆうサロンみちにし	37,000
	チームぶらっとカフェ	ぶらっとカフェ	34,000
合 計			539,507

イ かわぐち市民活動プラン助成金

地区社会福祉協議会が行うかわぐち市民活動プランの地区活動計画に基づく事業に対して助成金を交付した。

助成団体	助成事業	助成額 (円)
朝日東地区社会福祉協議会	夏休み子どもサロン	66,000
朝日地区社会福祉協議会	朝日地区子育て支援事業	84,000
合 計		150,000

⑤こども食堂実施団体への支援

社会的孤立の防止を目的に、市内で活動を行うこども食堂実施団体(12団体)が集う情報交換の場を2回提供したほか、運営に関する相談やボランティア希望者の仲介等、活動の支援を行った。

5 ボランティア活動推進事業

市民のボランティア活動に対する関心と理解を深め、広く活動に参画するよう支援し、魅力ある福祉のまちづくりを推進するため、ボランティアセンターを拠点としてボランティア活動推進事業を実施した。

(1) ボランティアセンターの運営

①かわぐちボランティアセンター運営スタッフ委員会の開催

- ・平成30年 4月19日(木) 出席者 10人
- ・平成30年 7月26日(木) 出席者 7人
- ・平成30年11月 8日(木) 出席者 9人
- ・平成31年 3月 7日(木) 出席者 10人

②ボランティア育成・啓発

ボランティアの育成・啓発・フォローアップを目的に講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成31年2月5日	ステップアップ講座	22
平成31年2月9日	ボランティア大学 「ボランティア入門講座～自分自身を知りボランティアを始めよう～」	10
平成31年3月24日	出前講座「災害対応ゲーム クロスロード」	17

③ふれあいいいききサロン

高齢者や障がい者、地域住民等、誰でも自由に参加できる場所を提供し、ボランティア活動を通して社会参加を促すことを目的に開催した。

(毎月第4木曜日 10時～12時)

場 所	開催回数(回)	参加者数(人)
かわぐち市民パートナーステーション会議室	12	173

④ボランティア相談

ボランティアコーディネーターが、ボランティア相談を行った。

相 談 場 所	相 談 日	開所日数(日)
かわぐちボランティアセンター	毎週 火～日曜日	298

- ・ボランティア相談 733件(その他の相談 1,541件)
- ・ボランティア依頼 108件(うち紹介 69件)

⑤ボランティアセンター利用状況

- ・登録ボランティア数（個人） 83人
- ・登録ボランティア数（団体） 180団体
- ・部屋利用件数（人数）

青木ボランティアルーム	90件（522人）
鳩ヶ谷ボランティアルーム	61件（317人）

⑥ボランティア保険

ボランティア活動中の様々な事故によるけがや賠償責任を補償することを目的に、ボランティア保険の加入手続き等を行った。

- ・ボランティア活動保険 4,544人
- ・ボランティア行事用保険 244件 25,665人
- ・事故報告 5件

⑦ボランティアの連携・ネットワーク支援

ア 福祉施設・病院・特別支援学校のボランティア担当者連絡会議

- ・開催日 平成31年 1月30日（水）
- ・内容 「社会福祉施設等におけるボランティアの受け入れについて」
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会
事務局長 後藤 麻理子 氏
- ・参加者 18施設18人

イ 川口市ボランティア団体連絡協議会に対する協力

(2) 福祉教育の推進

①ボランティアマインド推進校指定事業

ボランティアマインドの育成を図ることを目的に、市内の学校に対して助成金を交付した。

- ・指定学校数 小学校 23校 中学校 2校 高等学校 1校 計 26校
- ・助成金額 594,000円

②学校福祉体験授業への協力

ア ボランティア学習・福祉教育情報連絡会議

川口市教育局との共催により市内の小・中・高等学校の福祉教育担当教諭を対象とした会議を開催した。

開催日	内 容	参 加 者 数 (人)
平成 30 年 5 月 29 日	○議 題 ・平成 30 年度ボランティア・福祉教育における方向性について ・講義「福祉教育を通して学校に伝えたいこと」 講師：川口市視力障害者福祉協会 大井田 弘子 氏 ・川口市社会福祉協議会が協力できること ・ボランティアマインド推進校指定事業について ・質疑応答	・学校教諭 49 内訳) 小学校 41 校 41 人 中学校 7 校 7 人 高等学校 1 校 1 人 ・福祉教育推進員 12 計 61
平成 31 年 2 月 21 日	○議 題 ・平成 30 年度福祉教育実施状況について ・平成 31 年度ボランティア・福祉教育における方向性について ○事例発表「広げよう！ こころの輪」 本町小学校 教諭 井出 祐史 氏 ○講義「今、求められる福祉教育実践～地域の力をどう活かすか～」 講師：社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会 主査 牧野 郁子 氏	・学校教諭 25 内訳) 小学校 21 校 21 人 中学校 3 校 3 人 高等学校 1 校 1 人 ・福祉教育推進員 12 計 37

イ 福祉教育推進員制度

市内の各校において福祉体験学習への指導・実施協力を行う福祉教育推進員に 32 人が登録した。

- ・福祉教育推進員定例会 12 回開催 参加者延数 236 人
- ・ボランティア学習・福祉教育情報連絡会議の協力

ウ 福祉体験学習への協力・援助

市内小・中・高等学校の総合的学習の時間や地域などで行う福祉体験（車いす・アイマスク・高齢者疑似体験、当事者講演など）の実施協力と援助を福祉教育推進員とボランティア団体で行った。

- ・福祉体験学習に関する相談・体験実施延数

種 別	依頼件数 (件)	実施件数 (件)	参加体験者数 (人)
学 校	81	81	7,472
地域・企業等	3	3	38

・福祉体験への協力・援助活動回数

福祉教育推進員（回）	ボランティア・当事者団体（回）	当事者（回）
33 (活動延人数 253人)	20 (活動団体数 4団体)	24 (活動人数 4人)

・学校や団体等への備品貸し出し延数

車いす	391 台	アイマスク	1,234 枚
疑似体験用ベスト	532 着	点字器	1,003 器
足首おもり	626 個	白杖	95 本
ひじ・ひざサポーター	975 個	視覚障害者体験セット	7 個

(3) 青少年ボランティア育成委員会及びボランティア見本市実行委員会の運営・事業実施（市民と川口市協働推進課との協働事業）

① 青少年ボランティア育成委員会及び青少年ボランティア育成事業

川口市社協（かわぐちボランティアセンター）と川口市（協働推進課）と市民の3者協働で「青少年ボランティア育成委員会」を設立し、次代を担う子どもたちのボランティアマインドの向上を目的に各種事業を実施した。

ア 青少年ボランティア育成委員会 4回開催

イ ボランティアスクール（彩の国ボランティア体験プログラム合同実施）

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 30 年 7 月 21 日～8 月 12 日	○青少年ボランティアスクール 中学・高校・専門・大学生など 25 歳以下の青少年を対象とした、施設・団体でのボランティア体験（72 コース）	450
平成 30 年 7 月 24 日～8 月 3 日	○夏休みこどもボランティアサロン 小学生を対象とした、ボランティア団体でのボランティア体験（7 プログラム）	111
平成 30 年 8 月 27 日	○川口市青少年ボランティア大会 青少年ボランティアスクールの修了式を行い、夏休みのボランティア体験を総括した。	456

ウ 通年ボランティア事業の実施

中学生以上を対象に、青少年ボランティア c a f e を開催した。

- ・開催日 平成 31 年 2 月 17 日（日） 参加者 10 人
- ・テーマ 「車いすスポーツの魅力を知ろう！」
- ・内 容 車いすテニス、車いすバスケットボールの体験・交流

②ボランティア見本市

ボランティア団体が一堂に会し、それぞれの団体が活動の紹介とアピールを行うことで、市民のボランティア活動に対する関心の増進と参加のきっかけになるよう、市民によるボランティア見本市実行委員会を中心に、川口市社協（かわぐちボランティアセンター）と川口市（協働推進課）が協働して実施した。

開催日	平成30年10月14日（日） 10時～15時
来場者延数	13,000人
内容	1 ふれあいステージ 2 ボランティア体験プログラム 3 クイズラリー 4 ボランティアブース 5 ボランティアの花 6 盲導犬体験 7 社協PRコーナー
参加団体	1 ボランティアブース（55団体） 2 ふれあいステージ（10団体） 3 ボランティア体験コーナー（6団体）

（4）青少年ボランティア育成委員会への助成

青少年ボランティア育成委員会に対し、青少年ボランティアの育成を目的とした総合的な事業を実施するための助成金を交付した。

・助成金額 616,750円

（5）ボランティアに関する広報・情報発信

①情報紙「ぼらんていあ川口」の発行 6,000部（4回発行）

市内の学校、支所、公民館、登録ボランティア、福祉協力店、施設などへ配布した。

②ボランティアセンターホームページ

ボランティア募集や講座、イベント、助成金情報、登録団体の紹介などの情報を発信した。

(6) 災害ボランティアセンターに関すること

①災害ボランティア登録者の養成

被災時に災害ボランティアセンターを円滑かつ迅速に開設・運営できる体制作りを進めるため、登録者の養成講座を2日間実施し、講座修了者のうち10人が登録した。

・災害ボランティア登録者数 57人

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 31 年 1 月 19 日	○講 義 「防災対策～平時の備えについて～」 講師：川口市危機管理部防災課 「災害ボランティアとボランティアセンターについて」 講師：災害支援・防災教育コーディネーター 宮崎 賢哉 氏	17
1 月 20 日	○訓 練 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」 協力：特定非営利活動法人川口市民防災ボランティアネットワーク 川口市社会福祉協議会災害ボランティア登録者 川口市市民生活部 協働推進課	42

②災害ボランティア登録者のフォローアップ講座兼地域福祉推進員研修会

被災時に災害ボランティアセンターを円滑かつ迅速に設置・運営し、柔軟な活動や対応ができるよう知識を深めるとともに、登録者同士のネットワーク形成・相互理解を図ることを目的に講座を実施した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 30 年 11 月 4 日	○講 義 「7 月豪雨災害における広島県坂町災害ボランティアセンターでの活動について」 講師：川口市社会福祉協議会地域福祉課職員 「水害及び災害ボランティアについて」 講師：災害支援・防災教育コーディネーター 宮崎 賢哉 氏 ○グループワーク ・「浸水家屋での活動について」 ・「日々の暮らしでできる備えについて」	災害ボランティア登録者 18 地域福祉推進員 39

※地域福祉推進員には地区社協会長等を含む。

(7) 障がい者の社会参加促進を目的とした、障がい者と市民の交流の場の提供及び自立の支援
障がい者と市民の交流促進と障がい者の自立支援を目的とする市内障害者施設・団体とボランティアによる協働事業である「カフェ&ふれあいショップふらっと」を支援し、喫茶コーナーや参加施設・団体の製作物品の展示・販売など運営の円滑化・適正化に協力した。

〈平成30年度カフェ&ふれあいショップふらっと事業内容〉

①業務内容

・場 所	キュポ・ラ本館棟5階中央図書館内
・営業日数	266日（月曜日、第3金曜日、年末年始を除く）
・参加施設数	障害者施設：14施設
・登録ボランティア数	38人
・年間ボランティア活動人数	延1,439人
・取扱額	喫 茶 部 門 3,233,100円 展示販売部門 4,623,359円 合 計 7,856,459円

②委員会等の開催

・カフェ&ふれあいショップふらっと運営委員会	6回
・カフェ&ふれあいショップふらっと実行委員会	12回

③ワークショップイベント

・日 時	平成30年 8月22日（水）
・場 所	キュポ・ラ本館棟M4階 かわぐち市民パートナーズステーション各会議室
・体験者数	278人

④施設利用者の社会参加

施設利用者の社会参加の場として、ふらっと喫茶コーナーで体験実習を行った。

・実施回数	2回
・参加者延数	2人
・参加施設	社会福祉法人みぬま福社会「アトリエ輪」

⑤新装開店について

・新装開店日	平成31年 1月30日（水）
・記念式典	日 時 平成31年 2月 7日（木） 参加者 60人

6 共同募金配分事業

平成29年度赤い羽根共同募金及び平成30年度地域歳末たすけあい運動の募金実績に基づく配分金により、配分事業を実施した。

(1) 赤い羽根共同募金による事業

地区社協活動等助成事業など

事業等名称	金額(円)	備考
地区社協活動交付金(※再掲)	12,213,000	地域福祉活動の支援・強化(19地区社協)
ボランティア活動普及啓発事業交付金	180,000	ボランティア見本市
合計	12,393,000	

(2) 地域歳末たすけあい募金による事業

①地区社協に対する配分金の交付

地区社協に対し、歳末の各種世帯の支援やサロン活動などの福祉事業費として、地区における地域歳末たすけあい募金の実績に応じた歳末配分金を交付した。(計9,053,122円)

②川口市社協による事業(歳末たすけあい事業)

- ・在宅単身の88歳以上のかたで、同一町会に親族等身寄りのないかたへ、お正月向けの品物((株)十勝たちばな十勝甘納豆本舗本店お菓子詰め合わせ)を贈呈した。
- ・食事の支度ができず、家族などからの支援も困難なかたに、有料で栄養バランスがとれた昼食の配食を、安否確認も兼ねて年始に実施した。

	品物の贈呈(人)	配食サービス(人)
実績数	229	99

(3) 埼玉県共同募金会川口市支会(平成30年度募金実績)

町会、各種団体、法人及び市民の協力を得て、共同募金運動を実施した。

①赤い羽根共同募金

- ・実施期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日
※埼玉県共同募金会が定める実施期間は平成31年3月31日まで
- ・実績額 32,906,822円

②地域歳末たすけあい募金

- ・実施期間 平成30年12月1日～平成30年12月31日
- ・実績額 10,185,749円

③災害たすけあい義援金

中央共同募金会及び被災地の共同募金会による義援金の開設にしたがって、周知と受付を行った。

ア 平成28年熊本地震義援金	義援金額	461円
イ 大阪府北部地震義援金	義援金額	8,847円
ウ 北海道胆振東部地震災害義援金	義援金額	230,975円
エ 平成30年7月豪雨災害義援金(広島県)	義援金額	21,032円
オ 平成30年7月豪雨災害義援金(中央共募)	義援金額	1,451,082円

7 放課後児童クラブ事業

(1) 次の24校の支援事業を実施した。

放課後児童クラブ職員170人(支援員95人・補助員75人)

	クラブ名	在籍延児童数(人)									出席延児童数(人)			
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	月平均	平日	1日平均 (平日)	学校 休業日	1日平均 (学校休業日)
1	幸町小	432	434	299	149	34	2	0	1,350	113	14,082	72	3,638	37
2	仲町小	260	413	231	84	25	29	0	1,042	87	9,941	51	2,726	28
3	元郷小	442	447	235	121	11	2	72	1,330	111	14,398	74	3,247	33
4	青木北小	460	263	252	230	22	12	66	1,305	109	15,281	78	3,405	35
5	十二月田小	590	603	507	222	102	19	0	2,043	170	20,803	107	4,959	51
6	神根東小	115	178	167	73	96	5	0	634	53	6,664	34	1,727	18
7	本町小	662	520	393	203	128	53	0	1,959	163	20,217	104	4,118	42
8	芝中央小	272	190	157	91	23	29	0	762	64	7,240	37	1,837	19
9	差間小	379	441	301	115	64	0	45	1,345	112	13,607	70	3,297	34
10	上青木南小	277	262	287	67	35	3	0	931	78	9,110	47	2,340	24
11	在家小	213	285	262	36	34	9	0	839	70	8,816	45	2,059	21
12	戸塚東小	442	385	394	157	17	18	105	1,518	127	16,265	83	3,558	36
13	安行東小	606	511	488	150	82	68	0	1,905	159	20,422	105	4,675	48
14	慈林小	383	273	242	66	18	2	0	984	82	9,803	50	2,562	26
15	飯塚小	538	383	187	60	20	5	0	1,193	99	11,787	60	2,304	24
16	新郷東小	256	246	227	94	22	6	1	852	71	8,049	41	1,960	20
17	戸塚北小	677	449	449	188	57	8	0	1,828	152	20,029	103	4,385	45
18	木曾呂小	429	593	383	109	79	18	0	1,611	134	16,801	86	3,757	38
19	飯仲小	438	365	356	136	12	6	23	1,336	111	14,260	73	3,312	34
20	芝西小	428	478	201	124	2	10	0	1,243	104	12,860	66	2,914	30
21	朝日西小	249	136	98	42	29	14	0	568	47	6,214	32	1,466	15
22	新郷南小	465	224	240	137	35	3	10	1,114	93	12,161	62	2,798	29
23	原町小	327	235	170	80	24	2	0	838	70	8,582	44	2,057	21
24	上青木小	377	423	244	145	28	18	21	1,256	105	13,257	68	3,117	32
	合計	9,717	8,737	6,770	2,879	999	341	343	29,786	2,482	310,649	1,593	72,218	737

(2) 放課後児童クラブ開室日数

・293日(平日 195日 学校休業日 98日)

(3) 放課後児童クラブ支援員研修会

放課後児童クラブ支援員に対し、質の高い支援を目指すため研修会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数 (人)
平成 30 年 5 月 22 日	○接遇研修 講師 桜美林大学／淑徳大学短期大学部 兼任講師 梶川 義人 氏	青木会館	41
6 月 21 日	○アレルギー研修会 講師 川口市立医療センター 小児科 非常勤医師 山南 貞夫 氏	青木会館	85
6 月 28 日	○第 1 回全体研修会 「保護者とのより良い関係の作り方について」 講師 桜美林大学／淑徳大学短期大学部 兼任講師 梶川 義人 氏	青木会館	167
9 月 28 日	○救急救命研修会 講師 川口市消防局 救急課 救急指導係	青木会館	25
10 月 26 日	○障害児理解研修 講師 川口市役所 子育て相談課 発達支援係 課長 泉 浩平 氏 係長 北村 香苗 氏	青木会館	81
11 月 22 日	○防犯対策研修会 講師 川口市危機管理部防犯対策室 副主幹 青木 光洋 氏 主事 鈴木 翔 氏 川口警察署 生活安全課 係長 伊藤 一樹 氏 川口警察署 生活安全課 主任 加藤 亮太郎 氏	青木会館	53
平成 31 年 2 月 26 日	○第 2 回全体研修会 分科会No.1 「遊びの充実～身近なものを使って遊び方を学ぶ～」 講師 さいたま市大宮レクリエーション指導者協議会 須賀 よし子 氏 分科会No.2 「折り紙を学ぶ～室内遊びの充実とクラブの環境整備～」 講師 盛人折り紙ふれあい 分科会No.3 「児童虐待～気づきや発見時の対応～」 講師 川口市役所 子育て相談課 発達支援係 ケースワーカー 林 慧翠 氏 ケースワーカー 齊藤 香菜子 氏	青木会館	174

8 子育てサポートプラザ事業

(1) つどいの広場事業

0歳から3歳児の親子が相互に交流する場を開設するとともに、子育て相談や情報の提供等を通して地域における子育て支援の充実を図ることで、子育ての不安感等の緩和と子どもの健やかな育ちを促進することを目的として、リリア2階「子育てサポートプラザ」及び鳩ヶ谷駅地下1階「子育てひろばポッポ♡」の運営を行った。

	子育てサポートプラザ	子育てひろばポッポ♡
開 場 日 数	247 日	249 日
利 用 者 延 数	31,309 人	16,398 人
新 規 登 録 者 数	815 人	432 人
見学者・ボランティア	102 人	40 人
※ふれあい相談延件数	3,059 件	1,987 件

※子育て中の親が抱える身近な悩みや不安の軽減を図るため、つどいの広場内で子育てに関するふれあい相談を行った。

①子育て講座

子育ての悩みや不安の解消を図れるよう、専門的な分野の講座を開催した。

子育てサポートプラザ		
開 催 日	内 容	参加者数（人） ※子どもを含む
平成 30 年 4 月 17 日	生活リズムとトイレトレーニング～子どもの力を見つめて～	57
5 月 17 日	離乳食のすすめ方	60
6 月 19 日	なぜ、歯磨きするの？	47
7 月 12 日	赤ちゃんの心の育ちとかかわり方	60
8 月 23 日	子どものアレルギー	60
9 月 19 日	0歳から3歳児に起きやすい事故・けがの対処法	55
10 月 30 日	離乳食のすすめ方	58
11 月 15 日	生活リズムとトイレトレーニング～子どもの力を見つめて～	59
12 月 13 日	母乳・卒乳	60
平成 31 年 1 月 29 日	母乳・卒乳	58
2 月 20 日	子どもの病気	54
3 月 19 日	子どもの心の育ちとかかわり方	42

●相談延件数 86件

子育てひろばポッポ♡		
開催日	内容	参加者数(人) ※子どもを含む
平成30年5月10日	母乳・卒乳	39
6月21日	生活リズムとトイレトレーニング～子どもの力を見つめて～	40
7月11日	子どもの病気	40
8月9日	子どもの心の育ちとかかわり方	41
10月12日	母乳・卒乳	39
12月14日	子どものアレルギー	40
平成31年1月25日	離乳食のすすめ方	40
2月14日	なぜ、歯磨きするの？	40
3月8日	0歳から3歳児に起きやすい事故・けがの対処法	41

●相談延件数 51件

②あそび講座（子育てサポートプラザ）

子育て中の親が『あそび』をテーマに集団遊びや製作に取り組み、子育てを楽しめるように促していくことを目的に開催した。

・開催回数 10回 ・参加者延数 384人（子どもを含む）

③あそぼう会（子育てひろばポッポ♡）

リズム・製作などを行いながら、保護者へ様々な遊びを伝えることを目的に開催した。

・開催回数 8回 ・参加者延数 241人（子どもを含む）

④お父さんとあそぼう

父と子が一緒に遊ぶ場を提供するとともに、父親同士で情報交換をしながら、前向きに楽しく子育てができるよう支援することを目的に開催した。（土・日で開催）

	開催回数(回)	参加者延数(人) ※子どもを含む
子育てサポートプラザ	5	361
子育てひろばポッポ♡	5	237

⑤ボランティアグループによるイベント

ボランティアグループの協力を得て、絵本の読みきかせなどを行った。

	イベント	開催回数 (回)
子育てサポートプラザ	○親子で楽しむわらべうたと絵本 ・内 容 わらべうたや絵本の読み聞かせ ・協力団体 わらべうたと絵本の会ピコット	23 毎月第1・第3 火曜日に開催
	○おもちゃの病院 (平成31年1月より) ・内 容 壊れたおもちゃの修理 ・協力団体 おもちゃの病院	3 毎月第3 月曜日に開催
子育てひろばポッポ♡	○おはなし会 ・内 容 手遊びや絵本の読み聞かせ ・協力団体 おはなしじゅうたん かぶと虫の会	22 毎月第2・第4 火曜日に開催

⑥赤ちゃんママサロン (子育てひろばポッポ♡)

保護者同士の交流や友達作り、親子のふれあい遊びを行うことを目的に開催した。

・開催回数 5回 ・参加者延数 148人 (子どもを含む)

⑦避難訓練

利用者の参加協力を得て、避難訓練を実施した。

	開催回数 (回)
子育てサポートプラザ	3
子育てひろばポッポ♡	2

⑧川口市子ども発達支援巡回事業

子育て相談課の保育士及び臨床心理士による巡回相談支援を行った。

	開催回数 (回)	個別相談者延数 (人)
子育てサポートプラザ	2	5
子育てひろばポッポ♡	2	6

⑨青少年ボランティアスクール受入れ

中・高校生のボランティアスクール生の受け入れを行った。

	受入れ日数 (日)	受入れ人数 (人)
子育てサポートプラザ	2	8
子育てひろばポッポ♡	1	2

(2) 利用者支援事業

「子育てサポートプラザ」及び「子育てひろばポッポ♡」において、子育て中のかたが地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるように支援することを目的として、子育て支援サービス利用者の個別ニーズを把握し、情報の集約・提供、相談、利用支援を行った。

①個別相談

子育て中の親が抱える悩みや不安の軽減を図るため、個別に面談及び電話相談を行った。

	相談者実人数 (人)	相談延件数 (件)
子育てサポートプラザ	1,065 (うち新規 516)	1,751 (電話 311・来所 1,440)
子育てひろばポッポ♡	754 (うち新規 342)	1,088 (電話 150・来所 938)

②出張子育て相談

子育て支援拠点等への来所が難しい親子に対して、地域に出向いて子育て支援、相談を行いながら、地域の子育て支援の活性化を図ることを目的に開催した。

	内 容	参加者数 (人) (同伴子ども)
子育てサポートプラザ	開催日 平成 30 年 6 月 22 日 場 所 中央ふれあい館 テーマ ママのリフレッシュタイム～一人で頑張っていませんか?～ 講 師 NP ファシリテーター 西岡 由香里 氏	19 (20)
	開催日 平成 30 年 8 月 29 日 場 所 幸栄公民館 テーマ 保育所探しを始めよう!!	18 (18)
	開催日 平成 30 年 11 月 21 日 場 所 上青木公民館 テーマ ママが主役の日!!～ママ同士 de 一緒にあそぼう会～	16 (16)
子育てひろばポッポ♡	開催日 平成 30 年 7 月 25 日 場 所 新郷公民館 テーマ 保活どうしてる?～はじめての一步～	17 (17)
	開催日 平成 30 年 12 月 11 日 場 所 鳩ヶ谷駅市民センター テーマ 子どもの心を育む子育て～子どもの心の育ちとかわり方～ 講 師 臨床心理士 馬場 教子 氏	18 (18)
	開催日 平成 31 年 2 月 22 日 場 所 朝日公民館 テーマ ひよこママサロン～ママ同士の交流やふれあい遊び～	14 (15)

③子育てサロン等への協力・周知活動

- ・中央地区社協（ファミリーサロン）
- ・領家地区社協（たち）
- ・朝日東地区社協（ママカフェ）
- ・新郷地区社協（すまいるスマイル）

④利用者支援事業担当者会議

利用者支援事業の円滑な運営を推進するために、川口市役所子ども育成課及び市内3カ所の利用者支援事業担当者が集まり、地域における課題抽出・検討等を行った。

- ・開催回数 3回

(3) 子育て支援総合コーディネート事業

市内における子育て支援活動の展開を図ることを目的に、子育て関係機関との連携及び子育て資源の育成、社会資源の開発などを行った。

①子育て音楽会

楽しく安心して子育てができるよう支援することを目的に、音楽会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数（人） ※子どもを含む
平成30年 9月8日	わくわく音楽会 リターンズ 演奏者 アンサンブル・ヴォッリオ	青木会館 市民ホール	204

②子育て講演会

子育て中の親が、子どもとのより良い関係を作りながら、楽しく子育てをしていく方法を学ぶことを目的に講演会を開催した。

開催日	内 容	場 所	参加者数（人） ※子どもを含む
平成31年 2月24日	講演 「スマホで育児？ よいアプリ、悪いアプリの使い分け ～10年後、20年後の幸せのために～」 講師 小児科医 田中 秀朋 氏 (あかちゃんとかどものクリニック院長)	鳩ヶ谷庁舎	93

③子育て講座（お母さん版NPプログラム）

カナダの親教育プログラム（NPプログラム）を参考に参加者が子育ての中で抱えている悩みや関心のあることをグループで話し合い、自分に合った子育ての仕方を見出せるよう支援する連続講座を開催した。

- ・開催日 平成30年10月 4日～11月 8日（全6回）
- ・参加者数 17人
- ・託児数 18人

④川口市子育て支援団体・関係機関連絡調整会議

関係機関や地域子育て拠点等との連携を図ることを目的に会議を開催した。

	開催日	参加団体数	参加者数（人）
第1回	平成30年5月18日	29	43
第2回	平成30年9月26日	28	40
第3回	平成31年2月15日	26	43

⑤子育て支援職員研修

市内子育て支援事業の支援員に対し、専門知識及び資質の向上を目的に研修を開催した。

開催日	内 容	参加団体数	参加者数(人)
平成30年 9月26日	講義 「親支援のためのアンガーマネジメント」 講師 NPO法人えじそんくらぶ 代表 高山 恵子 氏	31	47
平成31年 2月15日	講義 「人と関わる現場で“主観と向き合う” ～また会いたいと感じてもらえるために～」 講師 臨床心理士 馬場 教子 氏	27	47

⑥子育てサポーターに関すること

地域における子育ての土壌づくりとして、子育てサポーターを養成するとともに、サポーターの派遣や調整についての業務を行った。

ア 子育てサポーター養成講座

託児ボランティアを養成するとともに、子育て支援に関する理解を深めることを目的に講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)	託児数 (人)
平成 30 年 6 月 6 日	子どもの保育 子どものけがと病気の応急処置	16	4
6 月 12 日	子どもの安全と心肺蘇生法、AED について	16	4
6 月 20 日	子どものこころと身体の発達	15	5
6 月 27 日	ボランティア活動の基本とかかわり方 活動の注意点 子育てサポーターの登録について	16	5
7 月 4 日～7 月 18 日	子育てサポートプラザでのふれあい体験 ※希望者のみ	7	2

イ 子育てサポーターフォローアップ講習会

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 30 年 7 月 10 日	○講義 「子どもの関わり方について ～子どもをわかろうとすることが大事～」 講師 保育士 蔵持 康子 氏 ○交流会	17
平成 31 年 1 月 18 日	○講義 「いくつになっても健康でいるために ～リンパを流すストレッチ～」 講師 フィットネスダンスインストラクター 寺本 和子 氏 ○交流会	15

ウ 子育てサポーター登録数 83人

エ 子育てサポーター派遣延数 219人

⑦育児サークルに関すること

市内の育児サークルの活性化、連携を図ることを目的に、サークルの登録管理及び連絡会を開催した。

ア 育児サークル登録数 53団体

イ 川口市子育て支援ボランティア団体・育児サークル連絡会議

開催日	内 容	参加団体数	参加者数（人） （同伴子ども）
平成 30 年 7 月 2 日	育児サークル紹介 情報交換	7	7 (3)

⑧インターンシップ・実習生等受入れ

- ・インターンシップ 1 人（大学院生）
- ・夢わーく 2 人（中学生）
- ・子育て支援員実習生 2 人

9 ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を受けたいかたと子育ての援助を行いたいかたを会員として登録し、会員間による子育ての援助活動を支援することにより、家庭と育児の両立、子育て支援機能の強化を図ることなどを目的に事業を実施した。

(1) 会員数

	男（人）	女（人）	合計（人）
サポーター会員（提供会員）	21	228	249
サービス利用者会員（依頼会員）	95	1,849	1,944
両方会員（提供・依頼会員）	3	250	253
合 計	119	2,327	2,446

(2) 事前打ち合わせ件数 210 件

援助活動を開始するにあたり、アドバイザーとサービス利用者会員、援助対象児、サポーターとで、事前に顔合わせと援助内容の詳細を確認するための打ち合わせを行った。

(3) 来所対応件数 120 件

サービス利用者会員として登録するにあたり、必要書類をセンターに持参し、アドバイザーが対応した。

(4) 説明会及び講習会の実施（入会希望者対象）

内 容	開催回数（回）	参加者延数（人）	子ども・同伴者延数（人）
サポーター（両方会員）講習会①②	6	45	11

※説明会については参加希望者がいなかったため開催しなかった。

(5) 講習会及び交流会の実施（会員対象）

内 容	開催回数（回）	参加者延数（人）	子ども・同伴者延数（人）
フォローアップ講習会	3	62	11
全体交流会	1	20	19

(6) サブリーダー会議

アドバイザー及びサブリーダーによる定例的な会議を実施し、援助活動の報告やセンター事業の企画運営について意見交換などを行った。

- ・ 5回開催 参加者延数26人

(7) 活動状況

内 容	援助活動件数（件）
保育所・幼稚園の登園前の預かり	117
保育所・幼稚園の送り	413
保育所・幼稚園の迎え	2,100
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	1,276
学校及び通学班の送り	541
学校の登校前の預かり	274
学校の迎え	27
学校の放課後の預かり	27
放課後児童クラブの登室前の預かり	431
放課後児童クラブの送り	732
放課後児童クラブの迎え	1,906
放課後児童クラブ終了後の預かり	635
子供の習い事等の場合の援助	2,667
保育所・学校等休み時の援助	117
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	319
保護者等の求職活動中の援助	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	20
保護者等の外出の場合の援助	277
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	109
その他の活動	13
合 計	12,002

(8) 情報紙の発行

- ・ ファミサポ通信 1回発行

10 高齢者福祉事業

高齢者福祉の向上を目的として、次の事業を実施するとともに、市内団体の高齢者福祉事業に協力、助成した。

(1) 健康長寿支援事業（健康講師派遣事業）

健康長寿支援事業のメニューのひとつとして、サロンや高齢者の集まり等に健康の維持・増進に関する講習等を行う講師を派遣・紹介する健康講師派遣事業を実施した。

・講師登録数 20人 ・派遣件数 4団体23件 ・紹介件数 1団体 1件

(2) 老人クラブ連合会交付金

助成金名称	交 付 額 (円)
たたら荘地区運営委員会助成金	60,000

(3) 金婚・ダイヤモンド婚・プラチナ婚賀詞贈呈事業

金婚・ダイヤモンド婚・プラチナ婚を迎えたご夫婦を祝うため、川口市社会福祉大会において賀詞を添えた記念品を贈呈した。（プラチナ婚については、平成30年度より新設）

・金 婚 306組
・ダイヤモンド婚 56組
・プラチナ婚 3組

(4) さわやかコール事業

高齢者の孤独感を和らげるとともに健康状態及び安否を確認することを目的に、ボランティアが定期的にひとり暮らしの高齢者に対して電話訪問を実施した。

・利用者数 64人（うち12人休止）
・電話ボランティア登録者 55人
・通話回数 2,967回（うち社協通話回数 117回）
・ボランティアスタッフ定例会 平成31年 2月28日（木）15人が参加した。

1 1 老人居宅介護等事業

介護保険法に基づき、川口市の指定を受け訪問介護及び介護予防・日常生活支援総合事業所を運営した。

(1) 訪問介護・介護予防・日常生活支援総合事業

「いつも笑顔で安心介護」の理念をモットーに、居宅サービス計画書（ケアプラン・予防プラン）等に基づいた①身体介護 ②生活援助 ③訪問型サービスを実施した。

訪問介護件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	197	202	203	192	188	190	195	201	202
時間数	2,143.6	2,258.3	2,171.3	2,146.4	2,144.2	1,953.8	2,172.9	2,086.6	2,008.2

1月	2月	3月	合計	平均
203	201	206	2,380	198.3
1,937.2	1,913.7	2,074.9	25,011.1	2,084.3

介護予防・日常生活支援総合事業件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	97	102	101	96	101	102	99	96	98
時間数	476.9	515.1	459.7	492.4	516.3	432.1	491.1	433.7	417.7

1月	2月	3月	合計	平均
99	101	106	1,198	99.8
413.9	398.6	470.5	5,518.0	459.8

(2) 在宅自立支援訪問介護（院内介助）サービス事業（介護保険外）

介護保険適用外の有料の訪問介護サービスとして、院内介助を実施した。

在宅自立支援訪問介護件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	6	8	6	5	5	6	7	7	10
時間数	9.0	27.5	17.0	13.0	11.0	12.5	13.0	12.5	21.0

1月	2月	3月	合計	平均
8	7	5	80	6.7
16.0	18.5	11.0	182.0	15.2

1 2 高齢者自立支援事業

川口市からの受託により、川口市内に住所を有するおおむね65歳以上で病気やけがにより一時的に日常生活に支障のあるかたに対して、6カ月を限度に自立生活支援員（ホームヘルパー）を派遣した。

自立生活支援員活動状況訪問延件数（同行訪問含む）

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪問延件数	84	122	101	142	140	132	133	103	103

1月	2月	3月	合計	平均
92	124	107	1,383	115.3

1 3 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、川口市の指定を受け居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業所を運営した。また、川口市の地域生活支援事業である移動支援事業を行った。

(1) 障害福祉サービス事業件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	70	69	72	71	74	70	74	70	68
時間数	1,005.2	1,044.0	1,020.8	1,033.1	1,048.1	961.9	1,049.5	1,027.5	1,003.5

1月	2月	3月	計	平均
64	66	67	835	69.6
938.6	928.5	1,031.4	12,092.1	1,007.7

(2) 移動支援事業件数及び時間数

単位：件（上段）、時間（下段）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	7	6	6	6	7	5	5	6	6
時間数	33.0	33.0	26.5	35.5	36.0	25.0	31.5	33.0	28.0

1月	2月	3月	計	平均
5	4	4	67	5.6
20.0	19.5	19.0	340.0	28.3

1 4 障害者相談支援事業

障がい者（児）に関する相談窓口として事業を実施した。また、川口市からの委託による障害支援区分認定調査の実施や関係機関との会議等に参加した。

(1) 川口市障害者相談支援事業（委託事業）

川口市の委託を受け、地域で生活する障がいのあるかたやその家族、関係機関からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うことで、自立した日常生活及び社会生活が送れるように総合的・継続的に支援を行った。

①支援方法 合計 1, 8 4 0 件 単位：件

	電話	来所	訪問	同行	個別支援会議
件数	1, 331	204	247	35	23

②支援内容 合計 3, 7 7 1 件 単位：件

	福祉サービス	障がい・病状理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係
件数	1, 127	38	480	628	31	287

	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇	権利擁護	その他
	164	703	252	5	39	17

③新規相談受理件数 1 1 1 件

④関係機関連絡調整の件数 2 8 0 件

(2) 特定相談支援事業

障害サービスを利用するうえで必要なサービス等利用計画の作成及びその計画に沿った相談支援を行った。

①契約件数 67件

②支援方法 合計 1,663件 単位：件

	電話	来所	訪問	同行	個別支援会議
件数	1,103	148	348	28	36

③支援内容 合計 3,628件 単位：件

	福祉サービス	障がい・病状理解	健康・医療	不安解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係
件数	2,253	3	475	230	0	477

	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇	権利擁護	その他
	21	80	52	33	0	4

④関係機関連絡調整の件数 873件

(3) 障害支援区分認定調査 4件

(4) 会議等への参加

支援の充実を図るため、関係機関との会議等に参加し、情報交換及び連絡調整を行った。

主な会議・連絡会名	概 要	開催・参加回数 (回)
川口市自立支援協議会	関係機関が集まり、「障害者福祉計画」や「自立支援福祉計画」、「障害児福祉計画」の進捗状況の確認や評価、地域ニーズの把握、ネットワーク作り等を行う会議に参加した。	本会議 3 むすぶ部会 3 つくる PT 3 みみず PT 4 子ども部会 5 医ケア児 PT 4
川口市障害者差別解消支援地域協議会	地域における障がい者差別に関する相談等について情報を共有し、障がい者差別を解消するための取組みを効果的かつ円滑に行うための会議に参加した。	2
川口市障害者相談支援事業所連絡会 (10 支援連絡会)	川口市内 10 カ所の障害者相談支援事業所と川口市障害福祉課による、情報の共有・連携を図ることを目的とした連絡会に参加した。	12
川口市自立支援協議会・川口市障害者相談支援事業所連絡会事務局会議	川口市自立支援協議会及び川口市障害者相談支援事業所連絡会の事務局会議に参加した。	11
南地区計画相談に関する情報交換会	川口市障害福祉課と青木、鳩ヶ谷、南平、中央地区の委託相談支援事業所及び特定相談支援事業所が集まり、事例検討や情報交換を行った。	46
権利擁護・意思決定支援担当	障がい者の権利擁護と意思決定支援の充実を目的に法テラス埼玉との情報交換及び障がい者の権利に関する研修を実施した。	6

(5) 障がい者に対する事業への協力

川口市等が主催する研修やセミナー等への協力として、パネルの貸出やパンフレットの提供をした。

1 5 手話通訳者派遣事業

川口市の委託を受け、聴覚障がい者の日常生活支援を目的に、情報伝達やコミュニケーションの仲介を行う手話通訳者派遣事業を実施した。

(1) 派遣実績

①川口市登録手話通訳者、専任手話通訳者対応 単位：件

生 活	医 療	職 業	教 育	住 居	その他	計
334	1,114	27	75	5	99	1,654

②外部派遣 埼玉聴覚障害者情報センター等（特に専門性の高い通訳） 1件

(2) 登録手話通訳者 22人

(3) 登録手話通訳者研修会 5回開催

- ・平成30年 5月25日（金） 新人研修 参加者 6人
複数派遣の交代方法、電話通訳研修
- ・平成30年 7月22日（日） 対人援助と実技 参加者 18人
- ・平成30年 9月 9日（日） 講義・実技「医療について」 参加者 19人
- ・平成30年10月10日（水） 聞き取り表現 参加者 15人
- ・平成30年11月 4日（日） 手話通訳者の健康問題 参加者 17人

(4) 聴覚障害者と手話通訳者の交流会 2回開催

- ・平成30年 6月17日（日） 「交通安全について」 参加者 34人
- ・平成31年 1月20日（日） 「認知症予防！みんなで脳トレ！」 参加者 33人

1 6 障害者居宅サービス技術援助事業

川口市からの受託により、障がい者の自立と社会復帰を促進し福祉の増進を図るとともに、居宅サービスを提供する事業所及びヘルパーの支援技術向上を目的として障害者居宅サービス技術援助事業を行った。

(1) 居宅サービス内容検討会の開催

事例によるヘルパー同士の意見交換や専門職のアドバイスを受け、援助方法を検討することを目的とし、検討会を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 30 年 6 月 26 日	居宅サービス勉強会 「訪問介護と障害者相談支援センターとの連携について～包括的視点での支援～」 講師 川口市障害者相談支援センターみぬま 相談支援専門員 梅田 耕 氏 川口市障害者相談支援センターいまむら 相談支援専門員 安増 望 氏 川口市障害者相談支援センターひふみ 相談支援専門員 下田 よし江 氏	27
7 月 24 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 「重度知的障害の息子 2 人と要介護状態の母がいる父の介護負担軽減について」	18
9 月 20 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 「他害・多動のある障害児を育てる父親の負担軽減について」	18
11 月 14 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 「自閉症スペクトラム障害の息子と高齢の母親家族との関わり方について」	26
平成 31 年 1 月 23 日	テーマ別事例検討・意見交換・情報交換 「受診・服薬拒否のある統合失調症への支援について」	10

(2) 川口市障害者支援ホームヘルパー研修会

障がい者に対する理解や知識を深め、円滑なホームヘルプサービスの提供を目的として、研修を開催した。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 30 年 10 月 6 日	講義 「発達障害について理解を深める」 講師 さいたま愛誠高等学園・明蓬館 SNEC さいたま 学園長 吉田 敏明 氏	42
12 月 14 日	講義 「強度行動障害の基礎知識と支援について」 講師 株式会社越谷心理支援センター 臨床心理士 岡野 結子 氏	26

(3) スキルアップ研修

専門医等から、より専門的な疾患の知識や対応方法を学び、スキルアップを図った。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 30 年 8 月 22 日	講義・実技 「口腔ケア技術演習」 講師 鷺頭歯科医院 院長 鷺頭 正大 氏 歯科衛生士 岡安 由美 氏 歯科衛生士 浜名 綾子 氏	30
平成 31 年 3 月 18 日	講義 「医療的ケアを要する人の支援～医療と介護の整理～」 講師 学校法人ワタナベ学園 吉川福祉専門学校 専任教員 小針 臣子 氏	19

(4) ゲストワークショップ

ゲストから提供されるテーマ等を題材に、助言なども得ながら参加者全体で知識を深めた。

開催日	内 容	参加者数(人)
平成 31 年 2 月 16 日	「共生社会を目指して～パラリンピックを契機に～」 講義 「共生社会とは～私たちにできること～」 講師 社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 地域連携課 青木 佑 氏 講演 「車いすバスケット選手としてパラリンピックに出場して」 講師 車いすバスケット選手 川上 理恵 氏 (シドニーパラリンピック銅メダリスト)	67

1 7 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

埼玉県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、障がい者等のひとりで生活していくには不安があるかたの権利を擁護することを目的として、福祉サービス利用援助、日常生活に伴う金銭管理などを行う「あんしんサポートねっと」事業を実施した。

（1）利用者数（平成31年 3月31日現在）

対 象 者	人 数 (人)
認知症高齢者等	9
精神障がい者	10
知的障がい者	7
その他	4
合 計	30

（2）生活支援員活動時間

対 象 者	活動時間 (時間)
認知症高齢者等	145.5
精神障がい者	145.0
知的障がい者	118.0
その他	42.0
合 計	450.5

（3）支援内容

①問合せ・初回相談

対 象 者	件 数 (件)
認知症高齢者等	36
精神障がい者	8
知的障がい者	6
その他	53
合 計	103

②訪問・相談援助

対 象 者	件 数 (件)
認知症高齢者等	450
精神障がい者	432
知的障がい者	363
その他	128
合 計	1,373

③書類等預かりサービス (平成31年 3月31日現在)

対 象 者	件 数 (件)
認知症高齢者等	1
精神障がい者	0
知的障がい者	1
その他	0
合 計	2

(4) 生活支援員 22人

生活支援員養成講座を開催し、新たに7人の生活支援員を委嘱した。

(5) 生活支援員定例会

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成30年 7月19日	○第1回定例会 ・平成29年度事業報告 ・情報交換「生活支援員の活動について」	13
11月27日	○第2回定例会 ・「精神障害・発達障害の利用者との関わり方について」 講師 川口市福祉部障害福祉課 支援係 主事 佐野 美貴 氏	13
平成31年 3月1日	○第3回定例会 ・「知的障害のある利用者との関わり方について」 講師 川口市心身障害福祉センターわかゆり学園 副園長兼生活介護第1係長 北倉 洋 氏 ・事例発表	12

18 生活福祉資金貸付事業

埼玉県社会福祉協議会から委託を受け、所得の少ない世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、生活福祉資金の貸付窓口業務を実施した。

(1) 相談件数 292人

(2) 貸付件数・金額等

区 分	種 類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
総合支援資金	生活支援費	0	0
	住宅入居費	0	0
	一時生活再建費	0	0
福祉資金	福祉費	15	2,378,000
	緊急小口資金	5	488,000
教育支援資金	教育支援費	2	823,000
	就学支度費	2	454,000
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1	14,980,000
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	6,272,000
臨時特例つなぎ資金		0	0
合 計		26	25,395,000

19 青木会館事業

(1) ホール・会議室・多目的室の貸出の実績

市民の文化の向上と社会福祉の増進に寄与することを目的に、川口市内外の団体等に会議室の貸し出しを行った。

単位：件

市 民 ホ ール	大会議室	中会議室 A	中会議室 B	小会議室	たたら荘 集 会 室	多目的室	合 計
115	399	363	331	536	16	104	1,864

会場使用料	5,265,690 円
自動販売機収入	736,753 円

(2) 老人福祉センター 青木たたら荘

余暇活動の活性化を目的に、市内在住の60歳以上のかたを対象とした入浴・娯楽施設「老人福祉センター青木たたら荘」の運営を行った。

開所日数 (日)	利用者数 (人)	1日平均 (人)	健康相談 (人)	利用料収入 (円)
290	22,832 (2,194)	79	179	2,055,900

* () 利用料免除者数 * 敬老の日は無料開放とした。(79人)

20 やすらぎ会館事業

(1) 会議室等の貸出の実績

単位：件

集会室	大会議室	中会議室	小会議室	合計
239	130	283	407	1,059

会場使用料	754,480 円
自動販売機収入	80,988 円

21 住民参加型福祉サービス事業

(1) 家事援助サービス・ちょこっと困りごとサポート

①家事援助サービス

家事ができず、家族などからの支援も困難なかたの自宅に協力員を派遣し、有料で家事等を実施した。また、援助のメニューに協力員による「訪問見守りサービス」を加えるとともに、利用料金を最初の30分以内一律300円、その後10分ごとに100円の加算から、30分ごとに350円、事務手数料月額200円に改定した。

		利用者数 (人)		利用時間	利用料 (円)		
		実人数	延人数		協力員活動費	事務手数料	合計
種別	高齢者	116	990	3,950 時間 32 分	2,817,050	198,000	3,015,050
	障がい者	4	37	97 時間 59 分	71,400	7,400	78,800
	病気・けが	5	39	122 時間 55 分	90,350	7,800	98,150
	産前・産後	22	64	193 時間 53 分	140,000	12,800	152,800
合計		147	1,130	4,365 時間 19 分	3,118,800	226,000	3,344,800
月平均			94	363 時間 47 分	259,900	18,833	278,733

	登録人数 (人)		派遣人数 (人)		
	実人数	人数 (3月31日現在)	実人数	延数	月平均
協力員	178	171	82	740	62

②ちょっと困りごとサポート

日常生活のちょっとした困りごとがあるかたの自宅に協力員を派遣し、有料でサービスを実施した。また、利用料金を30分以内300円から、350円に改定した。

		利用者数（人）		利用件数 （件）	利用料（円）
		実人数	延人数		
種 別	高 齢 者	37	55	63	28,700
	障 がい 者	5	9	10	3,850
合 計		42	64	73	32,550
月平均			5	6	2,713

	登録人数（人）		派遣人数（人）		
	実人数	人数 (3月31日現在)	実人数	延数	月平均
協力員	153	152	25	53	4

③研修会・交流会

協力員の知識及び資質の向上を目的に、研修会・交流会等を実施した。

催事名	開催日	内容	場所	参加者数（人）
協 力 員 入 門 講 座	平成30年10月16日	住民参加型福祉サービスについて	南平公民館	19
	10月18日		新郷公民館	14
	平成31年2月21日		青木会館	13
協 力 員 研 修 会 ・ 交 流 会	平成30年10月29日	・ 講座	青木会館	45
	10月30日	「防災出前講座 ～我が家の防災対策～」 ・ 交流会「状況報告・意見交換」	西公民館	11
	平成31年2月13日	・ 講座	青木会館	31
	2月27日	「救急法」 ・ 交流会「状況報告・意見交換」	やすらぎ会館	12

④有償型在宅福祉サービス団体情報交換会

市内の有償型在宅福祉サービス団体（6団体）を集めて情報交換会を実施した。

平成30年11月 6日（火）

(2) 食事サービス

①食事の支度ができず、家族などからの支援も困難な場合に、有料で栄養バランスがとれた昼食の配食（日曜日を除く週6日）を安否確認も兼ねて実施した。また、利用者負担金額を400円から、平日500円、祝日530円に改定し、本会による負担額を廃止した。

		利用者数（人）		配食延数（食）
		実人数	延人数	
種別	高齢者	213	1,689	27,942
	障がい者	30	265	5,199
	病気・けが	12	97	1,994
	産前・産後	9	21	184
合計		264	2,072	35,319
月平均			173	2,943

②委託業者を集めて検食や情報交換等、食事サービス品質向上会議を実施した。

- ・平成30年 6月 7日（木）
- ・平成30年12月 6日（木）
- ・平成31年 2月26日（火）
- ・平成31年 3月22日（金）

(3) 車いす貸出サービス・車いすステーション

①車いす貸出サービス

自宅で車いすが一時的に必要な場合に、車いすの貸し出しを実施した。また、利用料金を月額200円から、1カ月以内の貸し出しを無料、2カ月以降月額200円に改定した。

- ・貸出し件数 386件（青木会館 307件、やすらぎ会館 79件）
- ・利用料金 58,600円

②車いすステーション

一週間以内で車いすの貸出が必要な場合に対し、より身近な地域で利用できるよう、車いすステーションの設置を実施した。

- ・設置数 13カ所 貸出し件数 60件

(4) 福祉車両貸出サービス

常時車いす利用者または歩行困難なかたに対し、福祉車両(スロープ式)の貸し出しを実施した。

また、利用者の手続きの簡素化を図るため登録証の発行を行ったほか、年間登録料1,000円を徴収し、利用者が快適に使用できるようカーナビ・タイヤチェーンを装備した。

		利用件数(件)	登録者数(人)	登録金額(円)
種別	高齢者	151	30	30,000
	障がい者	42	8	8,000
	病気・けが	0	0	0
合計		193	38	38,000
月平均		16		

2.2 交通遺児育英事業

交通遺児の健全育成を図るため、関係機関・団体と協力し、次の事業を実施した。

(1) 奨学金の贈呈

	対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額(円)
前期(9月)	5世帯 6人	4世帯 5人	30,000円/人	150,000
後期(3月)	5世帯 6人	4世帯 5人	30,000円/人	150,000
計	10世帯 12人	8世帯 10人	—	300,000

(2) 年末支援金の贈呈

対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額(円)
9世帯 14人	8世帯 12人	30,000円/人	360,000

(3) 入卒時祝金の贈呈

区分	対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額(円)
中学校卒業	1世帯 1人	1世帯 1人	20,000円/人	20,000
高等学校卒業	1世帯 1人	1世帯 1人		20,000
計	2世帯 2人	2世帯 2人	—	40,000

※区分、小学校入学・中学校入学は、対象者がいないため実績なし。

(4) 修学旅行支援金の贈呈

区分	対象者数	申請者数・贈呈者数	基準額	金額(円)
中 学 校	1世帯 1人	1世帯 1人	30,000円/人	30,000
高 等 学 校	3世帯 3人	1世帯 1人	50,000円/人	50,000
計	4世帯 4人	2世帯 2人	—	80,000

※区分、小学校は、対象者がいないため実績なし。

2 3 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、川口市の指定を受け居宅介護支援事業所を運営し、居宅サービス計画書(介護ケアプラン・介護予防ケアプラン)の作成等を行った。また、川口市から委託を受け、要介護認定申請者に対し訪問調査を行った。

(1) 介護ケアプラン作成件数

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	160	153	157	155	158	161	159	164	156

1月	2月	3月	合計	平均
154	152	159	1,888	157.3

(2) 介護予防ケアプラン作成件数

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	17	18	17	18	15	16	19	18	19

1月	2月	3月	合計	平均
16	16	17	206	17.2

(3) 介護保険要介護認定訪問調査

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	3	9	7	9	9	9	4	12	8

1月	2月	3月	合計	平均
10	7	11	98	8.2

2 4 地域包括支援センター

川口市から青木地域包括支援センターの委託を受け、総合相談支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメント、包括的・継続的ケアマネジメント支援の中核機関として、次の事業を実施した。

また、生活支援コーディネーターを中心に、住み慣れた場所で安心して暮らし続けられる地域を目指し、関係機関や地域住民と共にネットワークの構築を図った。

(1) 総合相談支援事業

相談件数 6, 510件

(電話4, 751件、来所591件、訪問1, 046件、文書122件)

(2) 権利擁護事業

①成年後見 相談件数 135件 ※新規 9件

②虐待 相談件数 103件 ※新規10件

(3) 介護予防ケアマネジメント事業

①予防給付

予防給付ケアプラン作成 902件 (自社 341件、委託 561件)

②介護予防ケアマネジメント

・予防ケアマネジメントA 1, 229件 (自社 646件、委託 583件)

・予防ケアマネジメントC 34件

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

①ケアマネ会議

地域の介護支援専門員に対する支援の一環として、勉強会や情報交換を行った。

- ・青木地区内及び介護予防支援を一部委託している居宅介護支援事業所のケアマネジャーを対象とした勉強会を開催した。

開催日（会場）	内 容	参加者数（人）
平成 30 年 5 月 15 日 （青木会館）	第 1 回 ケアマネ交流会 テーマ「自立支援～総合事業に伴う介護予防ケアマネジメントの理解」	30
10 月 18 日 （青木会館）	第 2 回 ケアマネ交流会 テーマ「自立支援～多様なサービスの活用」	43
平成 31 年 1 月 23 日 （青木会館）	ケアマネ交流会 企画検討会 交流会の目的、内容、運営方法等に対して地域の主任介護支援専門員と共に評価・意見交換を行い、来年度の内容について検討を行った。	7

②日常的相談

相談件数 ケアマネジャー相談 180件 サービス事業者相談 41件

(5) 会議等の開催

①ネットワーク会議、地域ケア会議等開催

ア 個別支援会議 4回

イ 青木見守り連絡会

高齢者の見守り支援体制を構築するとともに、生活支援体制整備業務として住民同士が助け合い、支え合う地域づくりを進めていくため、地域住民や関係機関とのネットワーク構築を図った。

開催日（会場）	内 容	参加者数（人）
平成 30 年 7 月 23 日 （青木会館）	青木地区における孤立防止のための地域での取り組み	10
平成 30 年 11 月 26 日 （青木会館）	認知症のかたを地域で見守る	44
平成 31 年 3 月 25 日 （青木会館）	新たな見守り連絡会（協議体）構築にむけて	13

ウ その他ネットワークを構築するための会議 12回

②出前講座等実施

ア 認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識の普及・啓発、認知症の当事者やその家族の抱える思いの理解を深めるため、地域住民、団体等の依頼や本センターの主催により、認知症サポーター養成講座を開催した。

開催日	主催者	参加者数（人）
平成 30 年 6 月 14 日	川口市ボランティア団体連絡協議会	43
8 月 29 日	中青木一丁目緑寿会	34
8 月 31 日	青木地域包括支援センター	32

イ 認知症カフェ

認知症となっても地域で安心して暮らせるよう、認知症の当事者やその家族が交流できる集いの場を開催した。

- ・認知症の本人と家族の集いの場 オレンジタイム手とて 10回

ウ 家族介護教室

地域住民や高齢者の介護をするかたに対し、適切な介護の方法や知識の普及を目的に講座を開催した。

開催日（会場）	テーマ
平成 30 年 6 月 20 日（きらりキッチン TE TO TE）	「認知症が心配と思ったら…」
10 月 17 日（きらりキッチン TE TO TE）	「介護サービスの使い方」

エ 筋活サポーター養成講座

地域住民が主体となって介護予防に取り組むことが出来るよう、介護予防のリーダー役の養成を行った。（全 8 回）

開催日（会場）	参加者数（人）
平成 30 年 4 月 20 日、27 日 5 月 11 日、17 日、25 日 6 月 1 日、8 日、15 日 （青木会館）	30

オ その他出前講座実施数 13回

25 成年後見センター

川口市から成年後見センターの委託を受け、認知症や知的障がい、精神障がいにより判断能力が十分でないかたが、成年後見制度を円滑に利用できるよう成年後見センター事業を実施した。

(1) 川口市成年後見センター運営委員会

川口市成年後見センターの業務の適正な運営を図ることを目的に、専門職や行政職員等を委員とし、運営委員会を開催した。

- ・平成30年 5月28日(月) 出席者 10人
- ・平成30年 7月23日(月) 出席者 10人
- ・平成30年 9月18日(火) 出席者 10人
- ・平成30年11月28日(水) 出席者 10人
- ・平成31年 1月21日(月) 出席者 10人
- ・平成31年 3月20日(水) 出席者 10人

(2) 相談対応・支援

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように成年後見制度の利用に関する相談・助言を行った。

- ・相談件数 563件

①相談方法

単位：件

	電話	来所	訪問等
件数	306	216	41

②相談者

単位：件

	本人	親族	隣人 知人	関係 機関	地域包括 支援センター	障 害 者 相談支援センター	後見人等	他市町村 社 協	匿名 不明	その他
件数	79	273	5	116	25	22	10	19	3	11

③対象者

単位：件

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	匿名・不明	その他
件数	404	33	65	21	40

(3) 成年後見制度の普及啓発に関すること

①成年後見制度普及啓発セミナーの実施

成年後見制度を広く市民に周知することを目的として開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 30 年 8 月 25 日	「観たい！聞きたい！学びたい！転ばぬ先の成年後見制度」 第 1 部 講演「成年後見制度ってなに？」 ～ご本人のより良い暮らしのために～ 講師 埼玉弁護士会 小屋野 匡 氏 第 2 部 演劇 演者 川口市立高等学校 演劇部 解説 埼玉弁護士会 小屋野 匡 氏	76

②成年後見制度の普及啓発に関する出前講座の実施

市内各団体等からの依頼に基づき、制度の普及啓発を目的に職員による制度説明等に加え、法人後見支援員による寸劇を実施した。

- ・実施件数 6 件（うち法人後見支援員による寸劇が内容に含まれるもの 2 件）

③成年後見制度市民向け講座の開催

各専門職団体等に講師を依頼し、市民を対象とした講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 30 年 5 月 26 日	講義 成年後見制度と社会保障制度 ～知っておきたい社会保障制度～ 講師 埼玉県社会保険労務士会 川口支部 社会保険労務士 小岩 千代子 氏	32
7 月 21 日	講義 知っていますか？成年後見制度！ 講師 NPO 法人市民後見かわぐち 倉並 珠貴 氏	31
9 月 22 日	講義 老後に向けて出来ること ～任意後見制度を知っていますか～ 講師 (社団) コスモス成年後見サポートセンター埼玉県支部 行政書士 武田 極 氏	25
12 月 1 日	講義 成年後見制度の具体的な手続きについて 講師 (公社) 成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部 司法書士 内田 龍一 氏	20
平成 31 年 1 月 26 日	講義 成年後見人等の具体的な役割について 講師 埼玉弁護士会 高齢者・障がい者権利擁護センター 弁護士 池田 恵子 氏	33
3 月 23 日	講義 いつまでも自分らしく生きるために～成年後見制度～ 講師 (公社) 埼玉県社会福祉士会権利擁護センター ばあとなあ埼玉 社会福祉士 田中 稔 氏	23

(4) 関係機関との連携に関すること

①成年後見制度関連機関情報交換会

市民がより制度を円滑に利用できるように成年後見の相談業務に携わっている団体や機関が一堂に会することにより、各々の事業内容を把握し、連携を深めていくことを目的に実施した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 30 年 9 月 3 日	○説 明 各団体からの活動紹介 説明者 埼玉弁護士会、(公社) 成年後見センター・リーガルサポート埼玉支部、(社団) コスモス成年後見サポートセンター埼玉県支部、(公社) 埼玉県社会福祉士会権利擁護センターぱあととなあ埼玉、社労士成年後見センター埼玉川口支部、関東信越税理士会、NPO 法人市民後見かわぐち ○情報交換会	66
平成 31 年 2 月 12 日	○説 明 成年後見制度の実態 説明者 さいたま家庭裁判所 主任書記官 立神 清貴 氏 ○情報交換会	63

②障害者相談支援センター（権利擁護・意思決定支援担当）との連携

障害者相談支援センターとともに権利擁護をテーマにした研修を開催した。

(5) 川口市市民後見人候補者養成研修

市民後見人として必要な知識等の習得を目的に開催した。

開催日	内 容	参加者数 (人)
平成 30 年 12 月 7 日	川口市市民後見人候補者養成研修 事前説明会 講演 なぜ、市民後見人が求められているのか 講師 (社福) 埼玉県社会福祉協議会 権利擁護センター 主査 奥野 淳子 氏 説明 市民後見人候補者養成研修について	12
平成 31 年 1 月 11 日～ 2 月 22 日	川口市市民後見人候補者養成研修 本研修 ・全 10 日間	4

(6) 法人後見支援員に関すること

①法人後見支援員の委嘱

川口市市民後見人候補者養成研修修了者のうち、市民後見人として活動を希望するかたに対し、本会が法人後見支援員を委嘱した。

・委嘱人数 21人

②定例会・フォローアップ研修の開催

法人後見支援員同士の情報交換及び資質向上を目的に、定例会及びフォローアップ研修を開催した。

開催日	内 容	参加者数（人）
平成30年 4月16日	定例会 ・法人後見支援員の活動について 等	16
5月15日	定例会 ・法人後見の受任状況について、事例報告（死後事務） 等	15
6月20日	定例会 ・意見交換、情報共有	15
7月19日	定例会（権利擁護に関する情報交換会） ・意思決定支援と権利擁護～諸外国の制度・実務から学ぶ～ ・グループワーク	10
8月20日	定例会 ・法人後見の受任状況について 等	16
9月21日	第1回フォローアップ研修 講義 賢い消費者になろう！ 講師 埼玉県消費生活支援センター 消費生活相談員 木下 久美子 氏	14
10月23日 25日	定例会（施設見学） ・心身障害福祉センター わかゆり学園 ・社会福祉法人ひふみ会 障害者支援施設 光福	15
11月19日	定例会 ・法人後見の受任状況について 等	11
12月11日	定例会 ・事例検討 等	14
平成31年 1月24日	定例会 ・法人後見の受任状況について 等	14
2月27日	第2回フォローアップ研修 講義 成年後見人等としての死後事務 講師 （社団）コスモス成年後見サポートセンター埼玉県支部 行政書士 小山 祐介 氏	14
3月27日	定例会 ・法人後見の受任状況について 等	11

（7）法人後見・後見監督の受任に関すること

法人後見支援員が市民後見人として家庭裁判所から選任されるための活動・経験の場を提供することを目的に法人として成年後見人等を受任し、財産管理や身上監護を実施した。また、市民後見人が選任された後は、後見監督人として活動を支援した。

- ・受任件数 法人後見件数 16件（後見12件、保佐4件）
後見監督件数 5件（後見5件） ※市民後見人へ移行
（平成31年3月31日現在）

①法人後見支援件数 1,408件 単位：件

	電話	来所	訪問	その他
件数	716	73	594	25

②後見監督支援件数 99件 単位：件

	電話	来所	訪問	その他
件数	51	30	17	1

2.6 生活困窮者自立相談支援事業

川口市から川口市生活自立サポートセンターの委託を受け、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立促進を図った。

(1) 事業内容

- ①相談支援体制の構築及び生活困窮者の把握、相談受付
- ②スクリーニング(課題の抽出・整理・分類)による各種支援制度及び関係機関との連絡調整
- ③アセスメント(状況・課題の把握、分析)の実施及びプランの策定、評価

(2) 相談受付件数

窓口等での直接受付 678件 電話での問い合わせ 134件 計 812件

(3) 相談者の性別・年齢構成 単位：人

	男性	女性	計
10代	3	5	8
20代	38	36	74
30代	57	44	101
40代	71	53	124
50代	91	43	134
60代	74	28	102
70代	51	42	93
80代	26	15	41
90代	0	0	0
100代	0	1	1
計	411	267	678

(4) 相談経路

直接来所 559件

関係機関・関係者からの紹介 119件

(5) 初回面談時の主訴

単位：件

病気や健康、障がいのこと	25
住まいについて	83
収入・生活費について	275
家賃やローンの支払いのこと	71
税金や公共料金等の支払いについて	20
債務について	6
仕事探し、就職について	121
仕事上の不安やトラブル	3
地域との関係について	0
家族との関係について	11
子育てのこと	4
介護のこと	6
ひきこもり・不登校	11
DV・虐待	1
食べるものがない	12
その他	29
計	678

(6) 初回面談時のスクリーニング（分類）結果

単位：件

継続支援し、プラン策定予定	130
情報提供・相談対応のみで終了	431
福祉事務所（生活保護）へのつなぎ	48
他制度・他機関等へのつなぎ	68
スクリーニング判断前に中断・終了	1
計	678

(7) 支援方法

単位：件

電話による相談対応	1,107
訪問・同行支援	162
窓口等での直接面談	2,074
他機関との電話照会・協議	195

(8) 困りごと相談会（出張相談会）の開催

潜在的な困窮者の掘り起こし及び事業周知を図るため困りごと相談会（出張相談会）を開催した。

開催場所	開設日数（日）	相談件数（件）
新郷支所	15	10
戸塚支所	14	9
芝支所	15	9

(9) フードドライブの実施

市社協職員に呼びかけ年3回フードドライブを実施し、食べるものがなく困窮している相談者を対象に提供した。

- ・実施内容 平成30年 6月18日～ 6月29日 131点
平成30年12月 7日～12月17日 110点
平成31年 3月 4日～ 3月15日 125点

(10) プラン作成件数・支援調整会議

プラン案の適切性の協議・支援提供者によるプランの共有・プラン終結時等の評価・社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討を行った。

- ①プラン作成件数 新規プラン 133件 再プラン 31件
- ②プラン終結件数 114件
- ③支援調整会議開催回数 20回

(11) 研修・会議等への参加

支援の充実を図るため研修・会議等に参加し、援助技術の習得や情報交換を行った。また、講師として参加し事業周知を行った。

開催日	研修・会議名	場所
平成 30 年 4 月 17 日～18 日	平成 30 年度生活困窮者自立支援制度新任研修	彩の国すこやかプラザ
5 月 17 日	(仮称) 第 2 回生活困窮者支援ワーキンググループ	済生会川口総合病院
6 月 13 日	第 7 回生活困窮者支援ネットワーク協議会	済生会川口総合病院
9 月 12 日	(仮称) 第 3 回生活困窮者支援ワーキンググループ	済生会川口総合病院
10 月 17 日～19 日	平成 30 年度自立相談支援事業従事者養成研修	全社協 中央福祉学院
12 月 11 日	生活困窮者自立支援制度と生活福祉資金貸付制度の連携に関する研修	埼玉県県民健康センター
平成 31 年 3 月 6 日	平成 30 年度生活困窮者自立支援事業受託社協連絡会議	彩の国すこやかプラザ
3 月 8 日	生活自立サポートセンター支援連絡会議	川口市役所第二庁舎
3 月 13 日	(仮称) 第 5 回生活困窮者支援ワーキンググループ	済生会川口総合病院
3 月 14 日	川口市民生委員児童委員協議会全体部会「生活福祉部会」(事業周知)	フレンジィア

2 7 生活支援体制整備事業

第 1 層生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、生活支援の担い手の発掘、地域資源の把握・開発やネットワークの構築を図った。

(1) 地域におけるネットワークの構築

第 2 層生活支援コーディネーターとの連携により、8 地区 2 3 回のネットワーク会議に参加し、ネットワーク構築の支援及び事業周知を行った。

(2) 第1層協議体の設置

他市の状況調査や視察及び川口市長寿支援課との定期的な打合せを経て、第1層協議体を設置した。

- ・平成31年 1月30日 第1層協議体研究会 出席者 5人
- ・平成31年 3月18日 第1層協議体 出席者 6人

(3) 社会的孤立防止のための高齢者の居場所づくり

市内の先駆的な事例となるようエリアを限定したモデル事業として、社会的孤立防止のため社会福祉施設や地域包括支援センター、ボランティア等と連携のもと、高齢者が集えるサロン「おしゃべりC a f e」を6回開催し、延べ53人が参加した。

(4) 生活支援コーディネーターに係る研修への参加

全国社会福祉協議会や埼玉県社会福祉協議会が開催した、生活支援コーディネーターの養成研修や連絡会、研究協議会等へ7回参加した。

(5) 地域資源の把握

川口市長寿支援課、第2層生活支援コーディネーターと協働し市内全域の情報を整理し、可視化を行った。

(6) 川口市長寿支援課との連携

川口市長寿支援課と協働での事業展開にあたり、進捗状況の確認と意見交換を目的とした会議を22回開催した。

28 収益事業

収益を本会の福祉事業に充当し、地域福祉の充実と増進を図ることを目的に、収益事業を実施した。

(1) 市内公共施設等における自動販売機の設置

設置場所	設置数(台)	収入額(円)
青木会館屋外	1	164,239
やすらぎ会館屋外	1	5,250
公園	6	647,798
新庁舎建設現場	1	238,068
川口市めぐりの森	1	130,531
合計	10	1,185,886

※やすらぎ会館屋外は、公園に設置していたものを平成31年2月に移設した。

※川口市めぐりの森は、平成30年4月から設置した。

(2) 川口オートレース場内における自動販売機及び売店の委託運営

名称	設置・店舗数(台・店)	収入額(円)
移動売店	1	1,092,000
たばこ自動販売機	2	8,458,310
飲料自動販売機	7	5,214,073
合計	10	14,764,383